

その心配を
安心へ。

八千堀

YACHIBEI



株式会社 **イナハチ**

〒467-0025 愛知県名古屋市瑞穂区松栄町二丁目26番地の3
TEL:052-875-6990 FAX:052-875-6991 E-mail:info2@inahachi.co.jp

<https://inahachi.co.jp/>



株式会社 **イナハチ**

安心へ。 その心配を

気候変動や地震による災害が増えている昨今。

昨日までの安全が明日にも続くとは限らなくなっています。

環境が変われば、安全対策も進化する必要があります。

強固な壁として古くから設置されているコンクリート塀。

既存の丈夫な支柱を活かしながら、

重いコンクリート板をアルミパネルに変えれば、

震災時の倒壊被害を最小限に軽減できます。

強くて軽いアルミ製のエクステリアを数多く手掛けてきた

わたしたちのノウハウを結集して「八千塀」は、生まれました。

安全を守り続けることが、安心につながる。

いま、安心に向けて、動き出します。



既存の基礎や支柱を活かし、スピード改修。
重いコンクリートを軽いアルミパネルにすることで
震災時の倒壊被害を最小限に軽減します。

その心配を安心へ。

八千塀

YACHIBEI

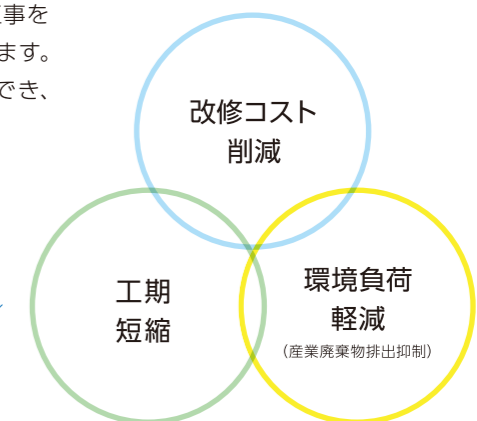


基礎工事不要!

既存のコンクリート基礎や支柱を活かす方式なので、撤去工事をする必要がなく、工期短縮、トータルコスト削減につながります。また、コンクリートなどの産業廃棄物を少なくすることができ、環境負荷軽減になります。

約85%軽量化

※一般的なコンクリートパネルとの比較



八千塀 YACHIBEI

コンクリート組立塀をアルミパネルに換装。
支柱カバー・笠木で老朽化した塀が、強く美しく、生まれ変わります。

既存のコンクリート組立塀の基礎や支柱はそのまま利用。支柱にアルミパネル取付枠をセットし、重いコンクリート板を軽いアルミパネルに換装することで、予期せぬ地震などでの倒壊被害を軽減します。

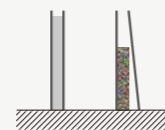


Before
施工前

1 コンクリート基礎や支柱を残し
コンクリート板を撤去



2 コンクリート支柱に
アルミパネル取付枠をセット



◆支柱が劣化している場合
外被せ柱を採用します。
(応相談)

鉄筋コンクリート組立塀とは？

日本産業規格 JIS A 5409 で規定されている鉄筋コンクリート組立塀構成材のことです。コンクリート製の柱、棚板、笠木を組み合わせた構造になっており、防風、防火、防犯など、多様な目的で現在でも幅広く使われ、わたしたちの暮らしを守っています。



3 アルミパネルを上部からスライドし
アルミパネル取付枠にビス留め



4 支柱カバー・笠木ジョイント・
笠木を取付

After
完成



八千塀の施工を作業工程に沿ってご紹介します。

作業の流れ

- 1 笠木、コンクリートパネルの撤去 P.9
- 2 パネル取付枠の取付 P.10
- 3 アルミパネルをスライド設置 P.10
- 4 支柱カバーの取付 P.11
- 5 笠木・笠木ジョイントの取付 P.11
- 6 施工完了 P.12

Before



1

笠木、コンクリートパネルの撤去



既設笠木撤去

既設パネル撤去



撤去完了



パネル撤去後



既設モルタル等の除去

2

パネル取付枠の取付



既設モルタルの除去



既設支柱へ取付枠用の穴加工



コンクリートビスにて 取付枠の取付

3

アルミパネルをスライド設置



取付枠の高さ調整



取付枠の取付



パネルの挿入 上部から取付枠の間に上から差し込み

4

支柱カバーの取付



パネル固定用穴加工 高さを合わせる



パネルの固定



コンクリートビスにて 支柱カバーの取付

5

笠木・笠木ジョイントの取付



笠木の取付 テックスビスにて本体上棧に取付



笠木ジョイントの取付 テックスビスにて笠木に取付

6

施工完了



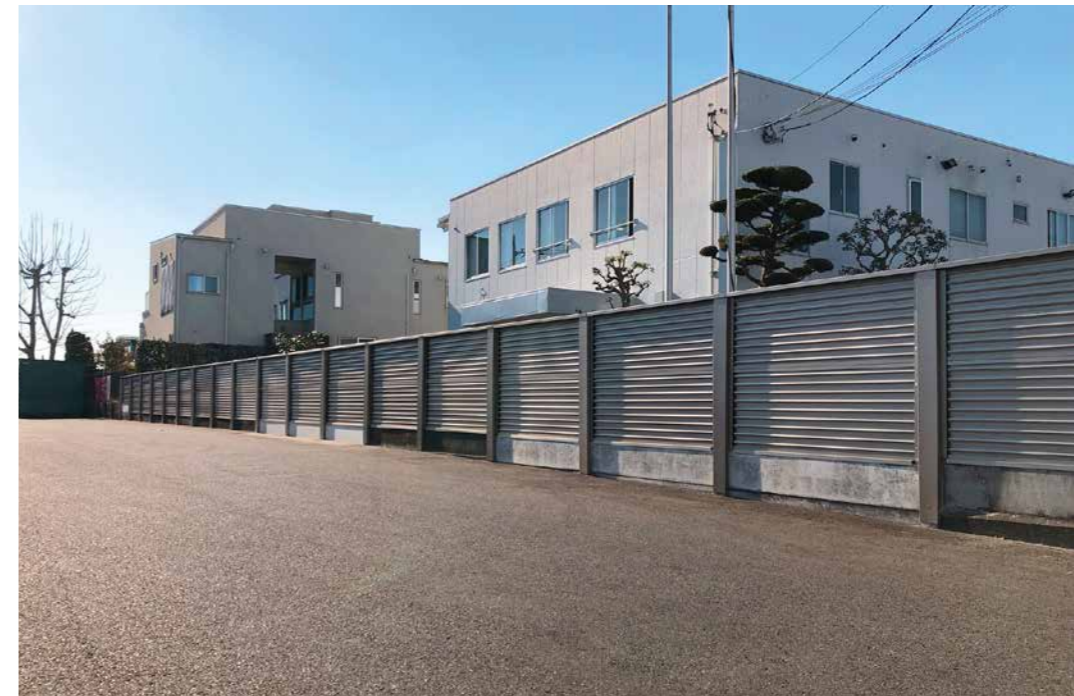
After



Before



■事例紹介



■事例紹介



■事例紹介

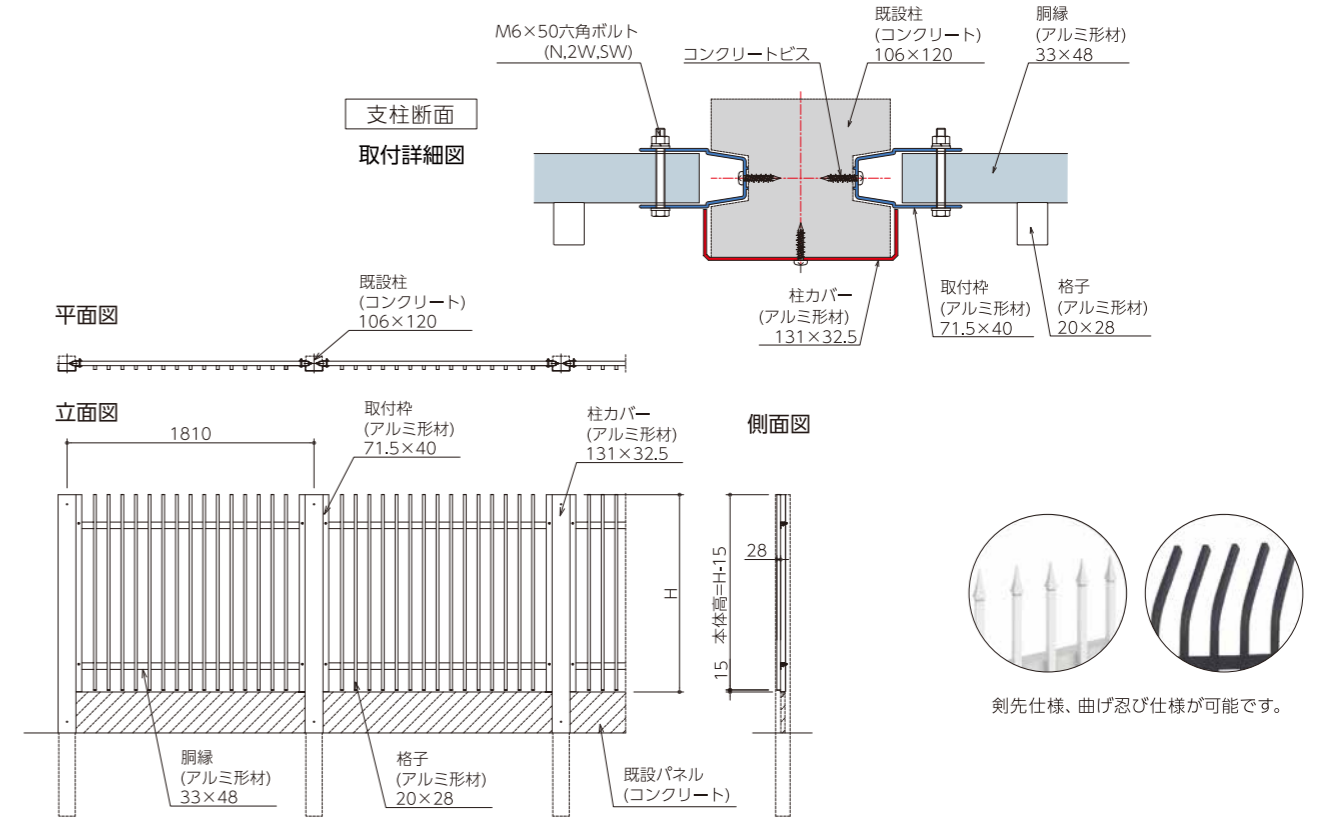
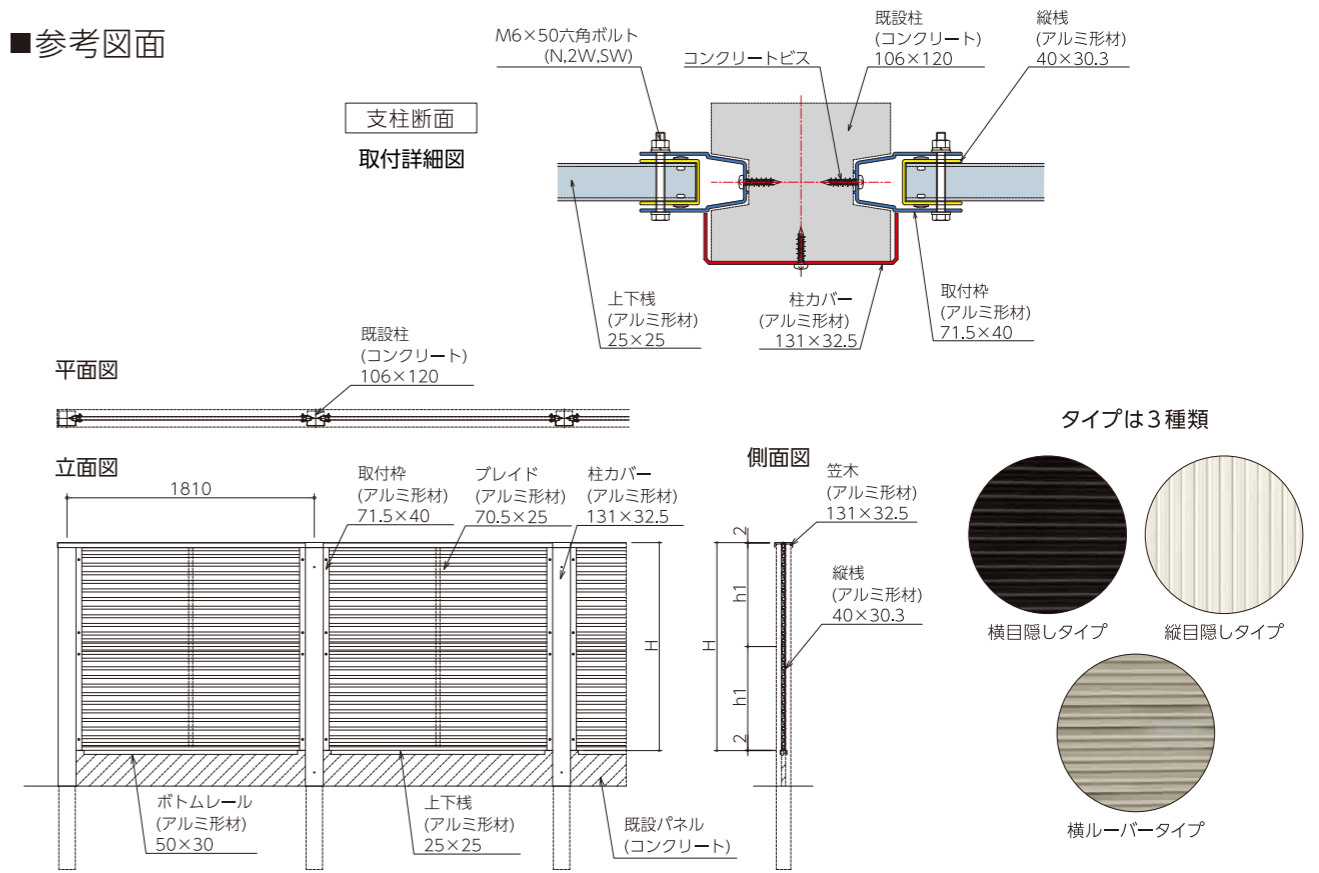


After

縦格子タイプ



■参考図面



カラーラインナップ (全6色)

- アルミ目隠しフェンス ミルキーホワイト ファインシルバー ステンカラー ブロンズ ビターブラウン ブラック

◎取付枠・縦棧・笠木・柱カバー：JIS H 4100 A6005CS-T5(JIS H 8602) ◎ブレイド：JIS H 4100 A6063S-T5(JIS H 8602)